

千葉産婦人科研究会学術講演会

日時：2018年8月24日（金）19時00分 - 20時30分

会場：オークラ千葉ホテル 3F 【ウィンザー】

千葉市中央区中央港 1-13-3 043-248-1111

■基調講演 19:00～

座長：千葉県がんセンター 婦人科 部長 田中 尚武先生

『進行卵巣がんに対する aggressive surgery の有効性と安全性』

演者：千葉大学大学院医学研究院 生殖医学講座

助教 楯 真一先生

■特別講演 19:30～

座長：千葉大学大学院医学研究院 生殖医学講座

教授 生水 真紀夫先生

『再発卵巣癌治療の最新の話題』

演者：筑波大学医学医療系 産科婦人科学 教授 佐藤 豊実先生

取得予定単位：

- ・日産婦医会研修シール
- ・日産婦学会単位（10単位）
- ・日本専門家機構 参加単位（1単位）
- ・日本専門医機構 講習単位（産婦人科領域講習 1単位）
- ・日本医師会生涯教育単位（0.5単位×3）「3:医療倫理：研究倫理・生命倫理、9:医療情報、11:予防と保健」

※会終了後に情報交換の場をご用意しております。

※先生ご自身の旅費を実費負担させて頂く場合がございます。その際にご施設や共催会社等のルールを確認の上、個別にご相談させていただきますのでよろしくお願い致します。

【佐藤先生からのキーメッセージ】

卵巣癌再発患者の治療は生存期間の延長、QOL の改善、症状の緩和が目的とされています。これまでの化学療法による治療は、ごく一部を除き、延命期間に限界があります。しかし PARP 阻害薬では 5 年を超えて病状を維持できる患者が 10%程度存在するデータがあります。また、条件を満たした患者では再発腫瘍摘出術で完治を狙える場合もあるとする後方視的報告があり、DESKTOP III の結果は前方視的にこれらの報告が正しい事を示すかも知れません。卵巣癌再発患者であっても QOL を保った長期生存あるいは完治を目指す時代が始まる気配を感じています。

会場地図

〒260-0025 千葉市中央区中央港 1-13-3

TEL:043-248-1111(代表)



問い合わせ

アストラゼネカ株式会社 オンコロジー事業本部 乳癌・卵巣がん・前立腺がん領域
寺村朋恭(てらむら とものり)

TEL 043-302-8420 FAX 043-302-8421 携帯 080-3824-3725

Mail Tomonori.teramura@astrazeneca.com